

【高松西】打安点総球
 3 3 0 0 0 0 0 0 0 1
 3 3 0 0 0 0 0 0 0 0
 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4
 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4
 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4
 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

【英明】打安点総球
 5 2 1 0 5 8 3 0 0 1
 2 1 0 5 8 3 0 0 0 1
 1 0 5 8 3 0 0 0 0 1
 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4
 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4
 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

投 手回 打安点総球
 中 西 5 2 5 4 1 0
 中 西 4 1 5 3 3 0 0

【高松一】打安点総球
 2 1 0 1 0 2 0 2 0
 2 1 0 1 0 2 0 2 0
 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4
 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4
 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4
 2 1 8 3 2 7 3 6 5

【高松東】打安点総球
 3 3 3 1 1 0 0 0 0 0
 3 3 3 1 1 0 0 0 0 0
 3 3 3 1 1 0 0 0 0 0
 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4
 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4
 2 0 6 3 1 8 1 1 2

投 手回 打安点総球
 下 4 2 0 4 4 3 2
 岸 藤 2 5 1 9 3 2 2 0

【観音寺】打安点総球
 3 3 3 2 1 0 0 0 0 0
 3 3 3 2 1 0 0 0 0 0
 3 3 3 2 1 0 0 0 0 0
 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4
 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4
 2 0 6 3 0 1 3 6 3 3

【観音寺】打安点総球
 4 4 3 3 0 0 0 0 0 0
 4 4 3 3 0 0 0 0 0 0
 4 4 3 3 0 0 0 0 0 0
 4 4 3 3 0 0 0 0 0 0
 4 4 3 3 0 0 0 0 0 0
 2 2 7 3 5 6 1 2 2

投 手回 打安点総球
 大 藤 3 1 9 8 2 2 5
 阿 河 4 1 6 5 1 1 2

【高松一—高松東】4回表高松一1死二、三塁、岩井のスライズが敵失を誘い三連打が勝ち越しの生還。レクサムスタジアム



四回、9番打者のスライズが相手ミスをついて、1点を勝ち越した直後の1死一、三塁。高松一の中監督に迷いはなかった。「さらに重い1点を取りたい」。1番小沢へ出したサインは、再び初球スライズだった。

「いつでもできる準備はできていた」と小沢。迎えた初球は、外角高めへの直球。うまくバットを合わせて転がした。高松東の意表を突いた鮮やかな攻撃で、貴重な追加点をもぎ取った。

これが効いた。「2点リードになってさらに落ち着けた。1点差はひりひりするから」とは、最近の調子を買われ、先発した背番号3の岩井。公式戦初登板の緊張から初回こそ2失点したが以降は得点を許さなかった。「みんなを信頼して投げた」との言葉通り、専ら三振はわずか1。直球とほぼ同じ球速のスライダーをうまく織り交ぜて幻想。後半は緩いカーブを効果的に使い、的を絞らせた。

指揮官の采配、起用に見事に応え、4年ぶりに初戦突破を果たした高松一ナイン。2回戦の相手は昨大会で大敗した高松商。旧チームから残る主将の三谷は「持ち味の全員一丸の戦いで雪辱したい」と闘志を燃やした。

直後、相手が再度スライズ。二塁手安西は「意識はなく、警戒を呼び掛けることができなかつた」と悔やんだ。

岸下は四回で降板。置きにいた球を打たれた。最後まで投げ、どんな形でも勝たれたと試合後、一人立ち上がれず、涙が止まらなかつた。

意表突く連続スライズ 高松一

高松一 そつない攻め

高松東初回逆転も及ばず

▽1回戦(第2試合)
 高松一 100003000000
 高松東 20000300000024

▽失策 一(小沢)東2(安)で、中盤に逆転した高松一が勝利した。
 西、三塁、岸下、三塁手(三谷)、三塁手、伊勢谷、福田

高松東は1点を追う初回到森川の右翼線三塁間に敵失が絡んで逆転した。高松東は1点を追う初回到森川の右翼線三塁間に敵失が絡んで逆転した。

死満塁とし、内野ゴロの間に同点。さらに小沢のスライズなどで2点を追加した。

右腕岩井は初回に2失点したが、8安打完投。直球をテイクバックよく投げ込み、二回以降は連打を許さなかつた。

高松東は1点を追う初回到森川の右翼線三塁間に敵失が絡んで逆転した。

1点リードの四回、先発の岸下は連打と四球でピンチを招き無死満塁から同点とされ、なおも1死二、三塁。「警戒していた」とスライズ処理に走り込み、アウトかと思われたがトスしたボールは無情にも捕手のミットからこぼれた。

援護できず

①：高松東は初回の逆転以降は無得点、投手陣を援護できず2点差で高松一に敗れた。後藤監督は「本当に残念。勝たせられなかったのは監督の責任」と語った。